

島根縣立商船水産學校一覽

祭魚洞文庫
5106
藏書架票

23 Z1
1484
史料館

国文学研究資料館

11403

5106

本校沿革
 職員表
 一 學生後學年別出身地調
 一 入學志願者狀況調
 一 設備大要
 一 文部省補助施設
 一 九年度實習予定表

島根縣立高船水産學校

一 燃料 乃價之廉 漁業者ノ最モ苦痛トスル所ナリ 依ツテ
本邦ニ於テ 試験的設備ヲナシ 其成績ニヨリ 富業者ノ指
導獎勵ヲサントス

三 貝製遺器式

五百圓

本島沿岸 産出ノ貝ノ漁獲多ク之ガ貝殼ハ島内一二ノ
製法ニ著者ニヨリ 御砂造 セラルトモ粗製縹糸地トシテ等
ノ加工ヲ施サズ 其儘京内地方ニ搬出 精製セラルル 依テ本邦ニ於
テ本製遺器式ヲ完備シ 本島漁村ノ經濟 更生ニ裨益
セントスルモノナリ

四 雜技自家用雜技機

四百圓

生徒ヲシテ 本機ノ性能ト 運用技術ヲ研究セシメ 併シテ富
業者ノ 副業的指導獎勵ヲ計ラントス
五 花魁ノ彫斗彫刻ニ關シ製造機

本年度實習豫定

漁撈科校外實習

一 實習項目

- 一 母船式 籍延縄漁業
- 二 鱒焚入網漁業
- 三 賴延縄漁業
- 四 リヤンコト島 漁場調査
- 五 航海運用練習兼 漁業視察(北鮮地方)
- 六 實習要綱
- 七 籍延縄漁業

五月中旬—六月中旬

一ヶ月

(一) 運轉時數

二〇時(三味二十日運轉)

(二) 方法

二 終 入 網 漁 業

(一) 時期

(二) 時期

(三) 運轉時数

(四) 方法

鵬丸ニ傳馬船ニ隻ヲ塔載シ漁具
ヲ使用シ竹島及本島近海
ニ於テ實施スルモノトス

六月中旬ヨリ

五十七日(月)中、漁具準備)

鵬丸ヨリ、時間(三十日運轉)

小型船三、時間(三十日運轉)

ニ隻、實習船ヲ使用シ和船五隻

澳夫五名、歩合制度ヲ借佛シ

本村漁撈科、三年生徒及ビ

職員一部ガ合同ヲ從事ス

電氣製菓魚燈ヲ使用ス

三 瀬 延 縄 漁 業

(一) 時期

(二) 時期

(三) 運轉時数

(四) 方法

十月

三十日

三、時(三十日)

小型船ヲ以テ漁具三十鉢ヲ使用シ

瀬奥延縄ヲナスモノニテ、隠岐島

沿岸ノ漁獲ノ調査ヲ兼ヌモノナリ

六月上旬

三日

二、五時

鵬丸本村職員及生徒並ニ
島内當業者ヲ召集セシメリヤン

五 北鮮 視察

(1) 時期
 (2) 期間
 (3) 方法
 (4) 運轉時數

三ノ島附近、海況等調査ヲ
 ナスモノナリ

經費、金額ヲ 便集、當業者ニ
 負擔セシム

七月下旬 — 八月上旬
 廿日間

一。時

鵬丸ニ 渡摺料 三年生全部集
 船ニ 當業者及 本邦職員中ヨリ
 法知ラ 選別シテ 航海運送用練習
 ヲ 兼テ 北鮮地方ノ 漁業視察
 ヲ 十人

六 雜務

(1) 時期
 (2) 期間
 (3) 運轉時數
 (4) 方法

隨時
 一年中

鵬丸 五。時
 小型船 一。時

沿岸漁業、生徒、旅行其他、運送
 ニ 使用ス

運船費、三分ノ二ヲ 便業者ニ
 名ニ 割當テ 徵集スルモノトス

船名	種類	時期	期間	運轉時數	方法
鵬丸	大型	隨時	一年中	五。時	沿岸漁業、生徒、旅行其他、運送
小型船	小型	隨時	一年中	一。時	沿岸漁業、生徒、旅行其他、運送